

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

# たきざわ市議会だより

第10号  
平成28年1月15日  
発行責任者：滝沢市議会議員  
編集：広報常任委員会

## 市民懇談会を開催

～放課後児童クラブの現状と課題を議論～



環境厚生常任委員会は、27年11月4日に「滝沢市児童保育連絡協議会」と市民懇談会を行いました。

懇談会では協議会で作成したパワーポイントを基に、見ながら、児童保育の歴史や狭小化・利便性の悪い施設の問題や運営面での課題などについて説明を受け、その後意見交換を行いました。

●市内全体で16施設あり、定員40名で総定員数が640名のところ、現在の利用者数は220名で、4施設が不足している。

●施設により指導員の人数が異なる。

は75名の定員で建設されたが、子ども子育て新制度により、定員が40〜45名となる。現在、在籍児童が90名であり国の基準に合わせるため半分が出て行かなくてはならない。もう1棟建てることは考えられない。

●駅を利用して運営しているが、トイレが足りない。40名を超える児童が利用しているため、不特定多数が使用する駅のトイレを使うことになる。指通しの目が届かず、声かけや連れ去りなどの危険性が増大する。

●市から将来的な補助金減額の考えの説明があったが、ぎりぎり運営しており指導員を減らすようになれば、残った指導員への負担が増大し、目が届かなくなる。

●つかいっこは28年度の総受入予定数が120名で、受けきれない。

委員会としては「所管事務調査に加え、喫緊の施設不足に対応するよう担当課に働きかけていくことや、運営面での問題解決に向け、今後調査研究していくことなど、議会としてできる取り組みについて懇談しました。

前号でも特報でお知らせしましたが、滝沢市議会の取り組みが「マニフェスト大賞優秀賞」を受賞しました。

マニフェスト大賞受賞前日には表彰された方々のプレゼンテーションがあり、3分間のスピーチに滝沢市議会の取り組みのすべてを注いで発表。結果、会場投票にて2位の評価をいただきました。

翌日の表彰では、優秀賞を受賞した6組の中から更に審査委員会特別賞も受け、トリプル受賞となりました。

今回で10年目を迎えた大賞は2467件の応募があり、滝沢市議会の受賞は大変意義があるものと受け止めています。受賞を機に、今後も市民と向き合い、開かれた議会行動する議会をめざし取り組んでまいります。

受賞のポイント(講評)

- 住民に開かれ、住民と歩む議会をめざし、議会報告会、市民議会、政策検討会など「立体的な手法」で運用している。
- 成果を図るための議会評価を進め、それを定数・報酬に連動させ、住民に報告し、議論を巻き起こすための議会フォーラムと議会報告会への開催に繋がっている。⇒ 結果、議員報酬の増額の決議をする。

政策提言型議会の実現を目指した取り組みが評価されました!

### ◎年頭のご挨拶

滝沢市議会議員 長内 信平

明けましておめでとうございます。年頭に当たり、滝沢市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

わが国の状況は、デフレ脱却と経済再生に向けた前進がみられ、景気は緩やかな回復基調にあるとするものの、地方は未だ不透明であり、実感できる今年の景気を期待し、だれもが豊かで住みよい滝沢市となりますよう願っています。

さて、市議会におきましては、全国に先駆けて

実施している議会改革が評価され、昨年は第10回マニフェスト大賞にて、優秀成果賞、並びに審査委員会特別賞を受賞しました。このことは、率先し自らの改革に取り組んだ成果が認められたものと思っております。

また、政策提言と政策評価、自らの議会評価を市民に公表する仕組みなど、具体的な実践を通じ、「住民自治日本一」にふさわしい市議会をめざします。

私も議員一同、決意も新たに、市民の皆様方のご期待にこたえるよう全力を尽くして参りますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 平成28年 滝沢市議会はじまる

～通年議会の会期～  
1月8日から12月27日まで

- 会議 2月・3月・6月・9月・12月
- 予算審査 3月
- 決算審査 9月

※このスケジュールは現段階での予定です。上記のほかに「議会報告会」等を実施する予定です。

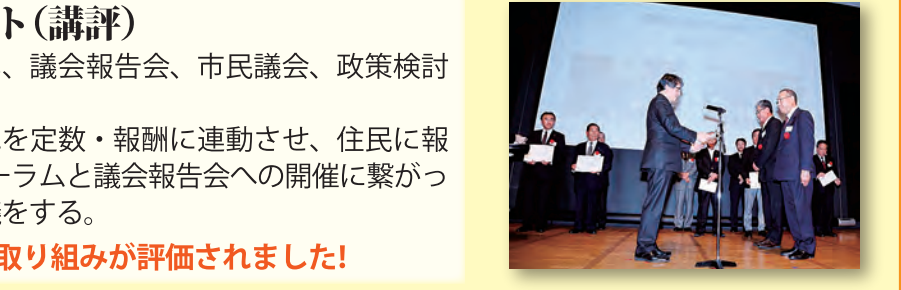
## マニフェスト大賞 「優秀成果賞」を受賞!

「審査委員会特別賞」  
「プレゼンテーション投票第2位」  
も同時受賞!

前号でも特報でお知らせしましたが、滝沢市議会の取り組みが「マニフェスト大賞優秀賞」を受賞しました。

マニフェスト大賞受賞前日には表彰された方々のプレゼンテーションがあり、3分間のスピーチに滝沢市議会の取り組みのすべてを注いで発表。結果、会場投票にて2位の評価をいただきました。

翌日の表彰では、優秀賞を受賞した6組の中から更に審査委員会特別賞も受け、トリプル受賞となりました。



# 議案の審査結果

## 12月会議

### 全員賛成で議決した議案

議案第1号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第3号)
議案第2号	平成27年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第3号	平成27年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第4号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第5号	平成27年度滝沢市水道事業会計補正予算(第2号)
議案第6号	平成27年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第2号)

議案第8号	滝沢市交流拠点複合施設設置条例を制定することについて
議案第10号	滝沢市都市公園条例の一部を改正することについて
議案第11号	平成27年度砂辺川支線排水路整備工事請負契約の締結について
議案第12号	平成27年度滝沢総合公園体育館改修工事請負変更契約の締結について
議案第14号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第4号)
発議第1号	滝沢市議会委員会条例の一部を改正することについて

### 賛否が分かれた議案

議案番号	議案内容	投票結果																				賛成票数	反対票数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
議案第7号	滝沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例を制定することについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第9号	滝沢市税条例等の一部を改正することについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
議案第13号	盛岡市及び滝沢市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	16	2
発議第2号	TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	12	6

※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません。

### 請願

件名	請願の趣旨	請願者	結果
1	TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める請願	滝沢市農民組合 代表 井坂 義信	採択

### 討報

滝沢市議会議員・川原渉氏(1期・47歳)が、27年11月27日に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

なお、このことに伴う繰り上げ当選や補欠選挙は公職選挙法の規定により行われず、今後は定数20名に対し現数19名で議会活動を行ってまいります。

### 2~3月議会の日程予定

2月8日(月)	議会運営委員会
2月8日(月)	全員協議会
2月15日(月)~17日(水)	2月会議※
2月24日(水)	議会運営委員会
2月24日(水)	全員協議会
3月2日(水)	3月会議※
3月4日(金)	各常任委員会
3月8日(火)	代表質問※
3月9日(水)	予算審査※
3月10日(木)	予算審査※
3月11日(金)	予算審査※
3月14日(月)	予算審査※
3月17日(木)	予算審査※
3月22日(金)	3月会議※

※は、本議会議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

12月会議の傍聴者 37名

～お知らせ～

- ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会議録」をご覧いただけます。
- 議場は、市役所4階です。
- 日程・内容は予定であり、変更する場合がありますので、ご了承願います。

傍聴におてんせ!



# 《12月会議》

## 一般質問

平成二十年五月五日  
氏子総代会

**Q** 建設予定の滝沢中央小学校等へ木材利用の考えは  
**A** 活用を含め検討中



会派に属さない議員  
**齋藤 明** 議員

**問** 建設中の交流拠点複合施設や、建設予定の滝沢中央小学校への木材利用の考えは。  
**答** 交流拠点複合施設は、主構造が鉄骨造りのため、コスト面等により市産材を利用する計画となっておりません。また、建設が予定されている滝沢中央小学校については、木材の活用を含めて、現在検討中です。

**問** 森林整備への今後の取り組みは。  
**答** 市有林は、国及び県の補助事業を活用してまいります。また、林業事業者等が実施する個人・法人の有林の森林整備は、市の規定に基づき、経費の補助を行い、森林整備を進めています。

**問** 新エネルギーについての考えは。  
**答** 再生可能エネルギーに注目し、市の環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づいて重要政策としています。

**問** 木質バイオマス発電  
**答** 再生可能エネルギーに注目し、市の環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づいて重要政策としています。

**Q** 消防団員の担い手不足の対応策は  
**A** 今後も消防団活動をPRし団員確保に努める

**問** 今後の具体的対応策は。  
**答** 従前どおり、団員による地域や職場での団員募集活動、自治会や消防後援会の協力を得て団員増を図ります。

**問** これまでの本市の取り組み状況と、評価・分析は。  
**答** 11年時点で団員の減少が顕著になったことから、15年には団員の定年制を廃止しました。また、同年に女性消防団員の任用を開始したほか、21年には全国的にも先進的取り組みであった市役所職員の消防団員任用を実施するなど、支援の結果、22年には団員数が380名に達しました。

**問** 今後の具体的対応策は。  
**答** 従前どおり、団員による地域や職場での団員募集活動、自治会や消防後援会の協力を得て団員増を図ります。

**問** 11年時点で団員の減少が顕著になったことから、15年には団員の定年制を廃止しました。また、同年に女性消防団員の任用を開始したほか、21年には全国的にも先進的取り組みであった市役所職員の消防団員任用を実施するなど、支援の結果、22年には団員数が380名に達しました。

**問** 市長の基本的な考えは。  
**答** 27年から「待ち」の姿勢から「攻め」の姿勢に転じ、積極的に取り組んでいます。

**問** 市内町村の「ふるさと納税額」ランキングで26年は最下位、27年も31位と低迷しているが、この現状をどう捉えるか。  
**答** 以前は低迷していたが、27年8月から返礼品を充実させた結果、9月時点で県内18位に上昇しています。

**問** 「ふるさと納税」の市の特産品の販売の現状と、今後の販売方法は。  
**答** 27年8月から寄付金額に応じた市の特産品等を返礼品としました。

**問** 「ふるさと納税」の申し込みについてもふるさと納税ポータルサイトから行えるように、12月からはクレジット決済で手軽に納税できるようにしました。

**問** その結果、金額が大きく伸び、12月10日現在約2000万円となっています。

**問** 市の特産品の販売の現状と、今後の販売方法は。  
**答** 特産品としてスイカ、岩魚、りんご等があり、それらを「いわて銀河プラザ」や「スーパースイーツフェア」などで販売しています。

**問** 更にふるさと納税の返礼品として販路拡大をめざします。

**問** 自衛隊を職場とする若者への認識は  
**A** 地域貢献の面からも頼もしく感じている

**問** 安部閣連法の成立により、自衛隊が海外で武力行使できるようになった。市内の若者が自衛隊に入隊する際に激励の言葉をかけているが、自衛隊とどのような職場と認識しているか。  
**答** 岩手駐屯地があることで市内に一定の人員が確保されることは重要である。

**問** 児童数の増加や校舎が確保されることは重要である。

**問** 児童数の増加や校舎が確保されることは重要である。

**Q** 滝沢中央小学校の建設財源の手当ては  
**A** 建設の実現に向け最大限取り組み

**問** 滝沢中央小学校の建設にあたり、どのように財源を手当てしていくのか。  
**答** 本市の財源の見直しは27年3月に策定した中期財政計画から状況は大きく変わっていません。

**問** 28年度以降の収支の不足に対応するため、各種基金の活用や自主財源の確保は。  
**答** 28年度以降の収支の不足に対応するため、各種基金の活用や自主財源の確保は、拡大策による歳入の増額目標と、事務事業見直し等による歳出の削減目標を掲げ収支均衡を保つ計画を立て、事業にかかる財源を見通してまいります。

**問** 滝沢中央小学校の建設に際しては、環境の改善を喫緊の教育課題と捉え、進めているものですか。  
**答** 滝沢中央小学校開校により、分割される同校の学区には、現在各3ヶ所の放課後児童クラブがあります。

**問** 超過しているのは「つかい」で定員74人に対して92人です。財政状況等を調整を図ります。

**Q** ごみ減量化について市独自の方策は  
**A** ごみ減量化のための4R運動を呼びかけています

**問** 認可外保育所への助成は。  
**答** 認可保育所は、国が認めた設置基準を満たし、公費により運営されています。

**問** 認可外保育所は、独自の経営理念に基づいて運営しており、待機児童の解消の一翼を担っているものの、市単独で助成することは考えていません。

**問** 認可外保育所は、国が認めた設置基準を満たし、公費により運営されています。

**問** 認可外保育所は、独自の経営理念に基づいて運営しており、待機児童の解消の一翼を担っているものの、市単独で助成することは考えていません。

**Q** 子どもの医療費助成への市の考えは  
**A** 長期的な財政状況を見据え検討

**問** 子どもの医療費助成について、本市は県の基準のみに留まっていますか、市の考え方は。  
**答** 対象年齢や所得制限のあり方など、県内市町村及び長期的な財政状況を見据えながら検討しています。

**問** 保育料の第3子を一部無料にしているが、すべてを対象を広げる考えは。  
**答** 来月からマイナナンバーカードが交付され、

**問** 子どもの医療費助成について、本市は県の基準のみに留まっていますか、市の考え方は。  
**答** 対象年齢や所得制限のあり方など、県内市町村及び長期的な財政状況を見据えながら検討しています。

**問** 保育料の第3子を一部無料にしているが、すべてを対象を広げる考えは。  
**答** 来月からマイナナンバーカードが交付され、

### 所管事務調査のご紹介

各委員会の所管事務調査を紹介します。

**総務教育常任委員会**

- 1 財政運営について
- 2 コミュニティ施設の管理運営について
- 3 学校給食について

**環境厚生常任委員会**

- 1 独り暮らし高齢者の見守りについて
- 2 放課後児童クラブについて

**産業建設常任委員会**

- 1 除排雪体制について
- 2 道路整備状況について
- 3 農業の担い手支援について

**Q** 児童生徒のスマートフォン等の利用規制を呼びかける考えは  
**A** 学校や家庭で取り組むことが大切

**問** 児童生徒のスマートフォン等の利用規制を呼びかける考えは。  
**答** 児童生徒のスマートフォン等の利用規制は、学校や家庭で取り組むことが大切である。

**問** 児童生徒のスマートフォン等の利用規制を呼びかける考えは。  
**答** 児童生徒のスマートフォン等の利用規制は、学校や家庭で取り組むことが大切である。

**Q** 生活困窮者自立支援法施行後の取り組みは  
**A** 就労支援、家計相談支援など柔軟な対応をしている

**問** 生活困窮者への支援の取組みが強化されているが、市独自の支援策はあるか。  
**答** 生活困窮者自立支援法は、経済的に困窮し、最低限度の生活が維持出来なくなるおそれのある人を対象に就労支援を行い、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的としています。

**問** 生活困窮者への支援の取組みが強化されているが、市独自の支援策はあるか。  
**答** 生活困窮者自立支援法は、経済的に困窮し、最低限度の生活が維持出来なくなるおそれのある人を対象に就労支援を行い、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的としています。

**Q** 子どもの医療費助成への市の考えは  
**A** 長期的な財政状況を見据え検討

**問** 子どもの医療費助成について、本市は県の基準のみに留まっていますか、市の考え方は。  
**答** 対象年齢や所得制限のあり方など、県内市町村及び長期的な財政状況を見据えながら検討しています。

**問** 保育料の第3子を一部無料にしているが、すべてを対象を広げる考えは。  
**答** 来月からマイナナンバーカードが交付され、

現在取り組んでいる市教育振興運動、児童生徒や保護者を対象とした「情報メディア」の上手な付き合い方」などで意見交換を進めていきます。

**問** 子どもの医療費助成について、本市は県の基準のみに留まっていますか、市の考え方は。  
**答** 対象年齢や所得制限のあり方など、県内市町村及び長期的な財政状況を見据えながら検討しています。

**問** 子どもの医療費助成について、本市は県の基準のみに留まっていますか、市の考え方は。  
**答** 対象年齢や所得制限のあり方など、県内市町村及び長期的な財政状況を見据えながら検討しています。